

令和4年度 秋田支部 保険者機能強化予算(案)について

予算区分		支部予算枠	予算枠の算出基準
支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	10,470千円	全体予算8億円を全支部一律に定額部分600万円を設定した上で、残りを加入者数で按分し加算
	②広報・意見発信経費		
支部保健事業予算	③健診経費	38,152千円	全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分
	④保健指導経費		
	⑤重症化予防事業経費		
	⑥コラボヘルス事業経費		
	⑦その他の経費		

秋田支部医療費適正化等予算(案)

千円未満切り上げ

分野	新規 継続 終了	事業名(取組名)	3年度	4年度	備考	
			予算	予算(案)		
① 医療費適正化対策経費	企画部門 関係	継続	お薬手帳ホルダーを活用した医療費の有効活用に向けた広報の推進	574千円	890千円	ジェネリック医薬品の意思表示付きのお薬手帳ホルダーを作成(スミ1色→2色)
		終了	位置情報を活用したジオターゲティング広告によるジェネリック医薬品の効果的広報(スマートフォンの位置情報を活用したWEB広告)	1,694千円	—	令和3年度の効果検証後、令和5年度再度検討
		新規	自治体の媒体やメディア系媒体を利用した、医療費適正化に関する広報(時間外受診等)	—	960千円	自治体で作成する封筒裏面への広告や、子育て情報誌等への記事や広告の掲載
	業務部門 関係	終了	被扶養者資格再確認業務の重要性周知の推進(被扶養者資格確認状況リストの回収率100%を目指した取り組み)	440千円	—	全国平均に比べて回収率が高いことや未提出の事業所が固定化してきていることから終了
② 広報・意見発信経費	紙媒体による 広報	継続	納入告知書同封広報誌、総合パンフレットの作成	1,649千円	1,650千円	健康保険あきた等事業所向けの定期発行物や健康保険制度や手続きについてのパンフレットを作成
		継続	限度額適用認定郵送セット、療養費装具郵送申請セット、任意継続郵送申請セットの作成	638千円	600千円	協会窓口での申請で多い申請書について簡単に郵送で申請できるようにセット化したものを作成し、医療機関等に配布
	その他の 広報	終了	WEBアンケートを活用した加入者理解度の向上	1,586千円	—	本部での理解度調査を実施しないため支部での実施も中止
		継続	WEB広告を用いた広報(けんぽチャレンジ25)	2,634千円	2,634千円	クイズを通じ、適正受診や制度について理解してもらうサイトへweb広告により誘導し、医療費適正を図る
		継続	メールマガジンの魅力を高めるランディングページ(特設サイト)等の作成	1,254千円	1,254千円	メールマガジンの登録につながるような特設サイトの作成
		新規	作成済み素材を活用した各種広報(バスラッピング、ポスター2種、動画等)	—	2,482千円	これまで作成した広報素材を有効活用し、支部の認知度アップへ図る
合 計			10,469千円	10,470千円		

分野	新規 継続 終了	事業名(取組名)	3年度	4年度	備考
			予算	予算(案)	
③健診経費	継続	協会けんぽ主催の集団健診	1,707千円	1,700千円	受診機会の増加を図り、健診実施数の増加を目指し、協会けんぽ主催により集団健診を実施する
	新規	健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	—	4,000千円	健診推進費より健診実施数増加に対する金銭的インセンティブを予定
	継続	生活習慣病予防健診および特定健診の受診勧奨	1,927千円	1,900千円	令和4年度の健診について年次案内のため各種広報物の作成
	継続	特定健診未受診者に対する受診勧奨	1,555千円	1,600千円	未受診者(被扶養者)に対して、文書による受診勧奨を実施
	終了	ミニのぼりを利用した医療機関内での受診勧奨	463千円	—	今年度作成した在庫により令和4年度も対応
	終了	マスメディア等を利用した健診受診勧奨(WEB広告)	3,669千円	—	費用対効果やすでにある動画等の再活用で対応することとし終了
	終了	ターゲットを絞った特定健診受診勧奨(ナッジ理論を取り入れたDM圧着ハガキの送付)	1,586千円	—	特定健診未受診者に対する受診勧奨内で実施のため終了
	継続	同意書の取得および事業者健診の結果データの取得	7,047千円	5,050千円	アウトソーシングにより事業者健診にかかる同意書の取得及び健診結果データの取得
	新規	医師会と連携した医療機関受診者への特定健診受診勧奨	—	500千円	受診勧奨チラシを作成し医師会と連携し、かかりつけ医からチラシの配布を予定
	新規	市町村集団健診への特定健診受診勧奨	—	500千円	市町村の集団健診の日程チラシを作成し直前に通知予定。(令和4年度は大仙市限定)
	継続	その他事務経費	42千円	42千円	健診実施機関実地調査時の交通費等
④保健指導経費	継続	中間評価時の血液検査費	528千円	495千円	特定保健指導実施機関における特定保健指導で、中間評価のために実施する血液検査の費用
	継続	特定保健指導の実施率の向上	2,787千円	3,503千円	保健指導利用を事業所等勧奨するための費用
	継続	保健指導用パンフレット作成等	880千円	780千円	保健指導に活用するパンフレットを支部独自に作成、購入
	継続	その他事務経費	1,003千円	942千円	公民館等での保健指導時の会場賃借料や測定用機器の購入費等

秋田支部保健事業予算(案)②

千円未満切り上げ

分野	新規 継続 終了	事業名(取組名)	3年度	4年度	備考
			予算	予算(案)	
⑤重症化予防 事業経費	継続	未治療者受診勧奨	4,063千円	7,700千円	アウトソーシングの委託数増加見込み
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	187千円	187千円	医療機関と連携した糖尿病成人症の患者に対する保健指導にかかる交通費
⑥コラボヘルス 事業経費	継続	健康経営宣言事業所の宣言取り組み支援事業	2,255千円	2,605千円	健康経営宣言事業所向けに健康に関する各種資料の作成・配布。
	継続	運輸業団体と連携したコラボヘルス事業	546千円	700千円	運輸業団体と協同で広報誌「ニュースレター」を作成・配布
	継続	健康経営宣言の推進事業	838千円	2,639千円	宣言内容の見直しにかかる勧奨業務を予定
⑦その他の経費	継続	地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	528千円	528千円	自治体、医療関係団体と共同で開催する健康づくりイベントにてブース出展(コロナウイルス感染症の感染状況考慮の上実施)
	継続	受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	420千円	421千円	秋田市母子手帳別冊への広告 受動喫煙防止宣言ミニのぼりの作成 体育協会発行広報誌への広告掲載
	終了	たばこの害に関する啓発ポスターの作成	710千円	—	令和4年度は減塩に関する啓発ポスターの作成
	新規	減塩に関する啓発ポスターの作成		822千円	禁煙・運動に関するポスターについて過去に作成、減塩に関するポスターを作成することで3大テーマ完成
	終了	WEB媒体を利用した県民ヘルスリテラシー向上(禁煙・減塩クッキング・運動に関する動画の作成、YouTube等広告)	3,850千円	—	新たな動画は作成せず、作成済みの動画を広報活動へ活用 令和4年度は本部においても支部で利用可能な動画を作成
	継続	歯と口腔の健康づくり事業	779千円	779千円	歯科健診により糖尿病等生活習慣病との関連がある歯周病を予防
	継続	保健事業計画アドバイザー経費 取組名変更 健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	759千円	759千円	秋田大学との共同研究にかかる研究費
合計			38,129千円	38,152千円	